鉄道コレクション対応　点灯化キット　JR東日本205系先頭車改造車対応

NR-0205_cv　ライトユニット　説明書

ISM WORKS
ism-works.shop-pro.jp

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。この説明書、下記の注意書きなどをよくお読みの上、お楽しみください。

【はじめに】
点灯化キットは、鉄道コレクションに、集電システム、ライトユニット、室内灯を組み込み、ヘッド・テールライト、室内灯を点灯させるためのキットです。
本キットは以下の車種に対応します。
・205系の先頭車改造車
本キットは、トレーラー車、動力ユニット付き車、どちらにも対応します。（チラツキ対策を施しています。）

⚠ご注意
・この商品は15歳以上のお客様にお楽しみいただける商品です。
・機能上小さな部品が使われており、誤飲の危険がありますので、3歳未満のお子様には絶対に与えないでください。
・機能上尖った部分があります。取り扱いには十分ご注意ください。
・加工の際の刃物や工具の取り扱いには十分ご注意ください。
・加工、組立の際に出たクズは、すぐに捨ててください。
・接着剤・塗料は、火気のない場所で、換気に注意してお使いください。
・車両は必ず直流（DC）12V以下で運転してください。交流（AC）は絶対に使用しないでください。
・ライト類は必ず動力車と編成を組んだ状態で点灯させてください。また、停止させたまま長時間点灯することはおやめください。
・脱線した場合、動力車やパワーユニットが発熱する恐れがありますので、直ちに電源を切り、復旧させてください。
・当キットのライトユニット・室内灯は、1両あたり合計最大約30mAの電流が流れます。電源の容量をご確認の上、お楽しみください。

【パッキングリスト】
このキットには、以下の材料がセットされています。加工を始める前に不足がないかお確かめください。

【ライトユニット】
・ライトユニット　：　1個/セット

【その他】
・説明書（本紙）　：　1枚
・導電性アルミテープ（15mm×約120mm）　：　3枚/箱

※導電性アルミテープは、楊枝や綿棒などを使って、しわを伸ばすようにして、しっかりと張ってください。
※導電性アルミテープは、導電性の接着剤が塗布されていますが、何度も貼り直していると導電性が失われていきます。接着剤の導電性を活用する箇所では、一度しっかり貼ってしまったアルミテープの再利用は避けてください。

【必要な工具】
・カッティングマット
・ピンセット
・ニッパ
~~・プラスドライバー~~
・両面テープ
~~・木工ボンド~~
~~・ポリエステルテープ（ニチバン「マイラップ」、セメダイン「ラビー」など）~~
・カッターナイフ（デザインナイフが望ましい）
・楊枝，綿棒など
・ピンバイス（0.3mm, 0.5mm, ~~0.8mm, 1.0mm~~）
~~・精密ヤスリ（平、丸、半丸など）~~
・ゴム系接着剤
~~・プラモデル用接着剤~~
・直定規
・塗装面を保護する柔らかい布
・ポンチ（プッシュピンなどでも可）
~~・サンドペーパー~~
~~・マスキングテープ~~
~~・瞬間接着剤~~
~~・遮光用の塗料（黒または銀）~~

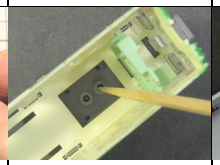
●取り付け手順

1. 分解する

1−1　床板を外す

車体と床板の間を押し広げ、床板を外します。

1−2　パンタグラフを外す

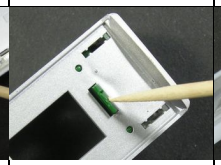


パンタグラフは、楊枝などで内側から押して外します。

1−3　屋根を外す

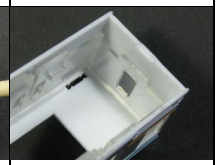
中央のツメを楊枝などで押して、屋根を外します。

1−4　乗務員室仕切りを外す



乗務員室仕切りは、屋根を外して天井上の爪を外します。

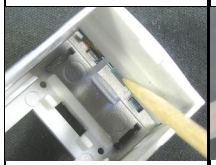
1−5　側窓を外す



窓ガラスは、側窓前部は自然に外れます。次いで、連結面、側窓中後部の順に外します。

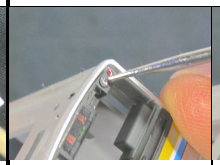
2. 車体を加工する

2−5　前面窓ガラスを外す

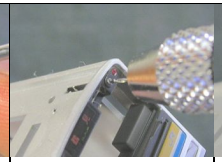


車体内側から、前面窓ガラスの下側のツメを、楊枝などを使って押して、外します。

2−1　ヘッド・テールライトの穴を開ける

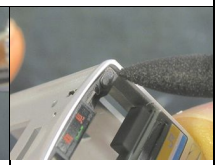


ヘッド・テールライトの中心、計4ヶ所に、ポンチを打ちます。



0.3～0.4mmのピンバイスで下穴を開けます。
下穴が中心からずれてしまった場合は、ピンバイスを抜き差しするなどして修正します。

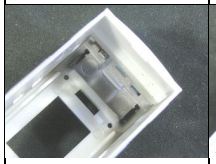
0.5～0.6mmのピンバイスで、穴を広げます。
0.5mmを使用した場合は、ピンバイスを何度も抜き差しして、穴を大きめに調整します。



黒のマジックインク又は黒塗料で、穴の周囲をタッチアップします。

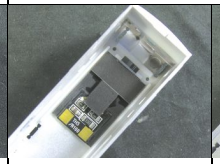
3. ライトユニットを取り付ける

3−1　前面窓ガラスをはめる

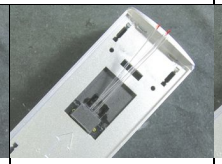


前面窓ガラスをはめます。

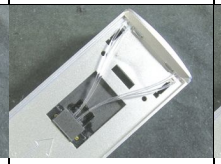
3−2　ライトユニットを取り付ける



両面テープを使用して、ライトユニットを取り付けます。



3−3　光ファイバの設置



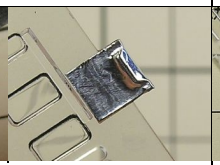
先端が赤い光ファイバをテールライトの穴（外側）に、先端が透明の光ファイバをヘッドライトの穴（内側）にはめます。
光ファイバを折らないように、注意して作業します。

3−4　屋根をはめる

屋根をはめます。
最前部のツメは、テールライト用とヘッドライト用の2本の光ファイバの間になるようにします。

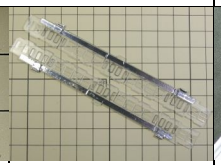
4. 配線する

4−1　側窓の凸部にアルミテープを貼る



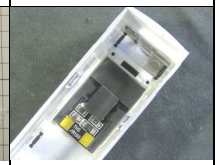
5mm×7mmのアルミテープを4本用意します。
側窓の内側・両端、ボディとの嵌合部の凸部にテープを貼ります。テープの先端が窓ガラスのリブに当たるようにします。はみ出したテープを側窓の外側に折り返します。綿棒や指でよく押さえ、凸部に馴染ませます。
両側の側窓の両端、計4箇所の凸部に貼ります。

4−2　側窓下にアルミテープを貼る

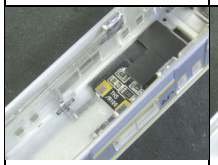
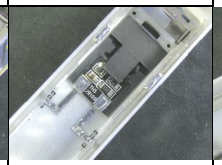
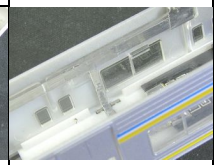


2.5mm×99mmのアルミテープを2本用意します。
側窓の両端の凸部をつなぐように、テープを貼ります。
両側の側窓に貼ります。

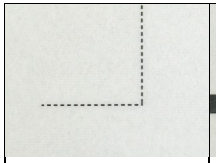
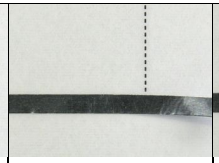
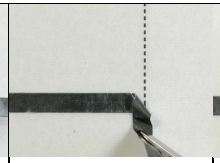
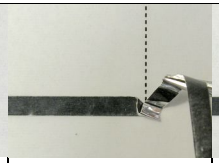
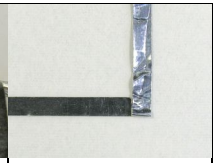
4−3　側窓をはめる



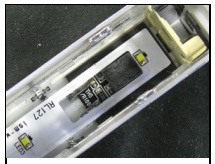
側窓をはめます。
外したときと逆の順に、側窓の中～後部、連結面、側窓の前部の順にはめます。

4−4 ライトユニットへの配線	4−5 給電パッドの重ね貼り	4−6 側窓下の重ね貼り
		
1.5mm × 約30mmのアルミテープを使って、ヘッドライトの給電パッドから側窓下まで、L字形に配線します。屈曲部は、欄外の記事を参考に折り曲げます。 余ったテープは切り捨てます。 ※必ず1.5mm幅の細いテープを使用します。太いテープはかえって通電を悪化させます。	ヘッドライト給電パッドの通電の確実を期して、3mm × 3mmのアルミテープを重ね貼りします。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。	側窓下の通電の確実を期して、2.5mm × 10mmのアルミテープを重ね貼りします。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。

●テープを折り曲げながら貼る

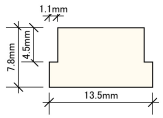
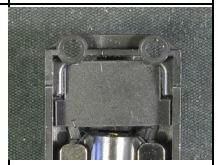
				
L字形にテープを貼ります。	一辺を貼ります。	曲がり角で、一旦反対側に曲げます。	向かいたい方向に、再度曲げます。	よく押さえて完成です。

●室内灯を加工する（室内灯を取り付ける場合）



ライトユニットの凸部と室内灯の基板が干渉するので、室内灯の四角い穴をLED4の直近まで拡大します。
カッターで何度も傷をつけて、切り取ります。

●遮光床を取り付ける（動力ユニットを使用し室内灯を取り付ける場合にお好みで）

0. パーツを作る	1. 遮光床を取り付ける
TM−14/18用遮光床 型紙  	
0.5mmのプラ板でパーツを作ります。 （遮光に適した黒いプラ板を分売しています）	動力ユニットのフレームの開口部に遮光床をはめ、両面テープで固定します。 前後両端に取り付けます。

NR−0205_cv 説明書 2.00
2015/06/23 1.00 初版
2017/08/25 2.00 製品フォーマット改定に伴う新版
2017/10/20 2.10 室内灯の加工を追記

補修用にアルミテープ等を分売しています。
ism−works.shop−pro.jp をご覧ください。

《お問い合わせ先》
イズムワークス・直売所
〒249−0002 神奈川県逗子市山の根1−5−15, 店舗営業はしていません。
phone：0468−27−7261, 10:00〜18:00 土日祝休業, e−mail：shop@ism−works.shop−pro.jp.

ISM WORKS
ism-works.shop-pro.jp